

平成27年度 行財政改革に関する職員アンケート

1 調査の趣旨・目的

少子高齢化の進行やライフスタイルの多様化等による行政サービスの増大をはじめ、地方公共団体を取りまく環境が非常に厳しい時代において、限られた資源（人員、予算、施設、時間）を有効に活用し、紀の川市の更なる飛躍、発展と健全な財政運営の推進を図るため、平成23年3月に「第2次 紀の川市行財政改革大綱」及び「第2次 紀の川市行財政改革集中改革プラン」を策定し、行財政改革を推進しています。

本行財政改革大綱等の計画期間が本年度で終了し、平成28年度から適用する「第2次 紀の川市行財政改革大綱 改訂版（計画期間＝平成28年度から平成29年度まで2年間延長）」の策定が必要であることから、今後の行財政改革の進め方等の検討資料とするため、職員アンケートを実施するものです。

このアンケートでは、各職員の担当業務の改善に関する意識、行財政改革等に対する考えなどを把握し、これまでの行財政改革の分析及び今後のあり方について、紀の川市行財政改革推進本部、紀の川市行財政改革推進委員会における検討の資料として活用いたします。

皆様からいただいた率直なご意見等は、今後の行財政改革推進に活用いたしますので、ご多忙のところ申し訳ございませんがご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本アンケートは無記名で行い、回答の結果については、集計の後、掲示板に掲載するほか市ホームページにも概要を公表する予定です。

2 調査対象

全職員（長期休業者、嘱託職員、臨時職員を除く。）

3 回答方法

- 各自で「回答用紙」を出力いただき、該当欄に記入してください。
- アンケートは、質問1～質問17まであります。記入漏れのないようお願いします。
- 記入は、回答用紙の数字左の□に✓をつけるもの、回答欄に具体的に記入するものがあります。
- ★印の質問につきましては全員が対象となります。

4 提出期限

平成27年10月30日（金）まで【期限厳守でお願いします】

5 提出方法

アンケート（回答用紙）は紙媒体でホッチキス止めの上、提出期限までに各課職場研修委員に提出をお願いします。

（各課職場研修委員の方は申し訳ございませんが、所属課員分を取りまとめの上、企画調整課へご提出ください。）

※職員アンケート回収BOXを本庁舎1階のタイムカード前に設置しますので、直接投函いただいても結構です。

【問い合わせ先】

企画部企画調整課 東、瀧本

内線：3504

外線：77-2526

平成27年度行財政改革に関する職員アンケート 質問用紙

あなたの担当業務の改善に関する意識や行財政改革に対する考えなどについて、以下の各質問に対する回答を別紙「回答用紙」にお答えください。（★印の質問につきましては全員が対象です。）

また、「複数回答可」とあるもの以外はどれか一つにチェックを付けてください。

I あなた自身のこと

★【質問 1】 あなたの年齢を教えてください。（調査票記入日現在）

- | | |
|---|-------|
| 1 | 29歳以下 |
| 2 | 30歳代 |
| 3 | 40歳代 |
| 4 | 50歳以上 |

★【質問 2】 あなたの役職を教えてください。

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 部長・次長 |
| 2 | 課長・主幹 |
| 3 | 課長補佐 |
| 4 | 係長 |
| 5 | 主事・技師・技能員 |

★【質問 3】 あなたの職種を教えてください。

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 事務職（司書、保健師、栄養士含む） |
| 2 | 技術職 |
| 3 | 保育士 |
| 4 | 技能労務職 |

II 業務の現状に関すること

1 業務の改善

★【質問 4】 業務に対するあなた自身の取り組みを振り返り、次の（1）～（5）について、現状に最も近いと思うもの一つにチェックしてください。

（1）優先順位について

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 業務の優先順位を常に考えて仕事をしている。 |
| 2 | 業務の優先順位を考えてはいるが、実際にそのとおりに進まないことも多い。 |
| 3 | 業務に追われ、優先順位を考える余裕がほとんどない。 |
| 4 | 担当業務は優先順位を考慮しなくてもできる種類のものである。 |

（次ページへ続きます。）

(2) 業務改善について

- 1 前例や決まった手順のある仕事でも、常に改善すべき点がないかを検討している。
- 2 担当業務の進め方が法令等で定められているため、改善の余地を見つけることは難しい。
- 3 仕事の進め方を変えるには関係部署などとの調整に多大な労力が必要なため実現が難しい。
- 4 業務に追われ、業務改善を考える余地がほとんどない。

(3) 担当業務に関するニーズや情報の収集について

- 1 積極的に市民・対象者等から生の声を収集している。
- 2 主にTV・新聞・インターネットなどのメディアから情報を収集している。
- 3 情報収集する必要性は特に感じていない。
- 4 業務に追われ、情報収集に手が回らない。

(4) 庁内他部局との連携について

- 1 他部局で行っている業務にも興味を持ち、連携の可能性がないか検討するようにしている。
- 2 他部局と連携をとるべきだとは思っているが、他部局の業務を知らないので連携できていない。
- 3 自分の担当業務は他部局との連携や協力を考える必要性がないものである。
- 4 業務に追われ、他部局との連携や協力を考える余地がほとんどない。

(5) 担当業務に関する市民への情報提供（説明）について

- 1 わかりやすい情報提供ができています。
- 2 ある程度はわかりやすい情報提供ができています。
- 3 わかりやすい情報提供ができていたとは言い難い。
- 4 情報提供の必要性はほとんどない。

(次ページへ続きます。)

2 コスト削減及び効率性

★【質問 5】 業務に対するあなた自身の取り組みを振り返り、コスト削減や効率性の向上に関する意識について、現状に最も近いと思うもの一つにチェックしてください。

1	常に意識している。	}	質問 5-①へ
2	意識することはよくある。		
3	意識することはあまりない。	}	質問 5-②へ
4	意識することはない。		

【質問 5-①】 コスト削減及び効率性に関する意識を、あなたはどのような取り組みにつなげていますか。(複数回答可)

1	コスト削減について明確な目標を設けて取り組んでいる。
2	業務の企画・立案に当たって費用対効果の分析等を行っている。
3	契約等の際に価格を抑える工夫を行っている。
4	経費の節減や効率的な執行、残業の抑制などを心掛けている。
5	その他 (具体的に記入してください。)

【質問 5-②】 「意識することはあまりない」「意識することはない」のはなぜですか。

1	これ以上取り組む余地がないから。
2	自分の業務はコスト削減や効率性とは無縁だから。
3	コスト削減や効率性の向上に取り組んでもメリットがないから。
4	コスト削減や効率性よりも内容及び質の向上に重点を置いているから。
5	そもそも行政はコストや効率性で評価できるものではないから。
6	その他 (具体的に記入してください。)

(次ページへ続きます。)

3 目標に対する意識

- ★【質問 6】 業務に対するあなた自身の取り組みを振り返り、アウトカム（業務を実施することにより得られる効果や成果）に関する意識について、現状に最も近いと思うもの一つにチェックしてください。

1	常に意識している。	}	質問 6-①へ
2	意識することはよくある。		
3	意識することはあまりない。	}	質問 6-②へ
4	意識することはない。		

【質問 6-①】 どのような方法で意識していますか。（複数回答可）

1	職場でアウトカムに関する議論をしているから。
2	担当する業務のアウトカムに関する目標が示されているから。
3	担当する業務のアウトカムに関して自分なりに考えて取り組んでいるから。
4	その他（具体的に記入してください。）

【質問 6-②】 「意識することはあまりない」「意識することはない」のはなぜですか。

1	業務のアウトカムについて議論するような機会がないから。
2	業務に追われ、アウトカムを考えている余裕がないから。
3	自分が担当する業務のアウトカムが何かよく分からないから。
4	その他（具体的に記入してください。）

- ★【質問 7】 あなたの担当する業務（事業、上位の施策を含む）は、明確にアウトカムの目標が設定できていますか。

1	明確にアウトカムの目標が設定できている。
2	ある程度、アウトカムの目標は設定できている。
3	目標はあるがアウトカムの目標と言えるものではない。
4	自分の担当業務については目標自体が設定しづらい。

（次ページへ続きます。）

★【質問 8】 あなたは、日々の業務において、短期・中長期の目標を立てて計画的に仕事をしていますか。

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 目標を立てて計画的に仕事をしている。 |
| 2 | 目標は立てているが計画的に進まないことが多い。 |
| 3 | 日々の業務に追われ、業務を計画的に行うに至っていない。 |
| 4 | 自分の担当業務は目標を立てなくてもできる種類の仕事である。 |

4 職場風土・組織評価

★【質問 9】 あなたは、あなたの職場の雰囲気をごどのように感じていますか。
(複数回答可)

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 明るく活気に満ちている。 |
| 2 | 命令や規則を重んじる雰囲気がある。 |
| 3 | 言いたいことが自由に言える雰囲気がある。 |
| 4 | 効率や業績を重んじる雰囲気がある。 |
| 5 | 円満な人間関係を重視する雰囲気がある。 |
| 6 | 新しいことを積極的に取り入れる雰囲気がある。 |
| 7 | 前例や慣習を重んじる雰囲気がある。 |
| 8 | 個人の自主性を重んじる雰囲気がある。 |
| 9 | 部下の提案を上司が積極的に採用する雰囲気がある。 |
| 10 | 他責的、横並び的、目立たない方がよいとの雰囲気がある。 |
| 11 | 他の職員が残っていると仕事がなくても帰りづらい雰囲気がある。 |
| 12 | 組織の改革のあり方や業務改善等について職員同士でよく話し合う雰囲気がある。 |
| 13 | 職場内での業務や所属の方針など情報の共有化がされている。 |
| 14 | 不正な業務執行やミス防止のために職場内でのチェック体制が整っている。 |
| 15 | 業務上のあらゆるリスクを想定し、対応できる体制が整っている。 |
| 16 | その他 (具体的に記入してください。) |

(次ページへ続きます。)

★【質問10】 あなたの職場において、改革（改善）の取り組みが必要と思うのはどのような項目ですか。（3つまで選択可）

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 職場風土 |
| 2 | 仕事の進め方 |
| 3 | 多忙な日常業務の解消 |
| 4 | 職員の能力開発向上 |
| 5 | 職員の意識改革 |
| 6 | 柔軟な組織体制の整備（応援体制の整備等） |
| 7 | 現場と上層部との意思疎通 |
| 8 | 意思決定・命令系統の明確化 |
| 9 | その他（具体的に記入してください。） |

★【質問11】 客観的に見て、あなたは、市役所全体についてどのように思いますか。（複数回答可）

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 市は市民から信頼されていると思う。 |
| 2 | 市の将来の発展を期待されていると思う。 |
| 3 | 市民の声は市政に大いに反映されていると思う。 |
| 4 | 職員は仕事に積極的であると思う。 |
| 5 | 職員はチャレンジ精神が旺盛であると思う。 |
| 6 | 職員は市民に対して、親切、丁寧な対応をしていると思う。 |
| 7 | 市の情報は十分に公開や提供がされていると思う。 |
| 8 | 市と市民との協働が進んでいると思う。 |
| 9 | PDCAマネジメントサイクルによる事業の見直しは進んでいると思う。 |
| 10 | 市の財政は比較的健全であると思う。 |
| 11 | その他（具体的に記入してください。） |

（次ページへ続きます。）

Ⅲ 行財政改革について

1 行財政改革の取り組みへの認知度

★【質問12】 あなたは、担当する業務が「行財政改革大綱」の行財政改革の重点項目や「行財政改革集中改革プラン」の個別の改革事項や事務事業の総点検（サマーレビュー）による取り組みに関連するかどうか知っていますか。

- | | | |
|---|------------|-----------|
| 1 | よく知っている。 | } 質問12-①へ |
| 2 | だいたい知っている。 | |
| 3 | あまり知らない。 | |
| 4 | ほとんど知らない。 | |

【質問12-①】 「あまり知らない」「ほとんど知らない」のはなぜですか。
(複数回答可)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 行財政改革大綱や行財政改革集中改革プランの内容をよく知らないから。 |
| 2 | 行財政改革の取り組みに関心がないから。 |
| 3 | 担当業務は行政改革とは無縁であるから。 |
| 4 | その他 (具体的に記入してください。) |

(次ページへ続きます。)

2 行財政改革の効果

★【質問13】 これまでの市の行財政改革の取り組みにより効果が上がっているとあなたが思う項目はどれですか。(17、18以外複数回答可)

1	事務事業等の改善
2	民営化・民間委託の推進
3	指定管理者制度の活用
4	地域協働の推進（市民と市の役割分担の適正化）
5	公正の確保と透明性の向上
6	電子自治体の推進
7	柔軟かつ機動的な組織・機構の構築
8	定員管理の適正化（職員数の削減）
9	給与の適正化
10	人材育成の推進（職員の意識改革）
11	財政の健全化
12	補助金の整理合理化
13	地方公営企業等の経営健全化
14	地方公社・外郭団体等の効率的な運営
15	公共工事の改革
16	公共施設の見直し
17	それほど効果が上がっているとは思えない。
18	わからない。
19	その他（具体的に記入してください。）

★【質問14】 今後も、市は行財政改革の取り組みについて、今まで以上に力を入れて実施していくべきであると思いますか。

1	大いにそう思う。	}	質問14-②へ
2	どちらかといえばそう思う。		
3	どちらかといえばそう思わない。	}	質問14-①へ
4	まったくそう思わない。		

(次ページへ続きます。)

【質問14-①】 「そう思わない」のはなぜですか。(複数回答可)

- 1 これまでの取り組みで十分で、今まで以上に力を入れる点はないと思うから。
- 2 改革による削減・縮小ばかりでは、職員のモチベーションが上がらないから。
- 3 行財政改革は不断の取り組みが必要であり、粛々と進めれば良いと思うから。
- 4 行財政改革の必要性は感じているが、実践への負担感が大きいから。
- 5 財政状況がそれほど逼迫しているとは思わないから。
- 6 行財政改革自体の必要性を感じていないから。
- 7 その他 (具体的に記入してください。)

【質問14-②】 今後どのような点に重点を置いた行財政改革を実施すべきであるとお考えですか。(3つまで選択可)

- 1 事務事業等の改善
- 2 民営化・民間委託の推進
- 3 指定管理者制度の活用
- 4 地域協働の推進(市民と市の役割分担の適正化)
- 5 公正の確保と透明性の向上
- 6 電子自治体の推進
- 7 柔軟かつ機動的な組織・機構の構築
- 8 定員管理の適正化(職員数の削減)
- 9 給与の適正化
- 10 人材育成の推進(職員の意識改革)
- 11 財政の健全化
- 12 補助金の整理合理化
- 13 地方公営企業等の経営健全化
- 14 地方公社・外郭団体等の効率的な運営
- 15 公共工事の改革
- 16 公共施設の見直し・再編
- 17 業務量調査に基づく職員の適正配置
- 18 自主財源の確保
- 19 第三者の視点による評価
- 20 行政評価の定着と活用
- 21 事業実施にあたっての市民ニーズの把握
- 22 施策の形成過程への市民の参加
- 23 適正な人事システムの構築
- 24 その他 (具体的に記入してください。)

- 【質問 1 5】 あなたの所属する部や課の業務で、今後どのような点に重点を置いた行財政改革を実施すべきであると考えますか。具体的な取組みの提案があればその内容と、必要と考える理由を記入してください。
- 【質問 1 6】 あなたの所属する部や課の業務以外で、今後どのような点に重点を置いた行財政改革を実施すべきであると考えますか。具体的な取組みの提案があればその内容と、必要と考える理由を記入してください。
- 【質問 1 7】 最後に、行財政改革に関することや日常業務、内部管理事務（総合計画進行管理、財政運営、組織・人事管理など）に関して何かご意見等があれば自由に記述してください。

ご協力ありがとうございました。
(記入後は、所属内の職場研修委員に提出してください。)